

雪印コーヒーの変遷

パッケージの変遷



1963年～

1963年に三角パックで発売された雪印コーヒー牛乳は1970年に500ml紙パック飲料にリニューアルされる。このときから「茶・黄・赤」の「雪印コーヒー」カラーが採用される。

1000ml入り紙パック発売。インスタントコーヒーが主流だった当時、アイスコーヒーは喫茶店で飲むおしゃれな飲み物だった。「雪印コーヒー」もそのイメージにあやかり、しゃれたガラスのイラストを採用した。



1978年～



1989年～



1992年～



1997年～



2002年～



2008年～



2012年～

現行パッケージではミルクとコーヒーのバランスにこだわる発売当初からの「雪印コーヒー」の開発姿勢を表現すべく、ミルクとコーヒーが混ざり合うジズルを採用している。

開発 秘話

- ★「雪印コーヒー」の歴史は1963年（昭和38年）に発売されたテトラパックの「雪印コーヒー牛乳」にさかのぼります。牛乳をもっと身近なものにしたいという思いから当時インスタントコーヒーがお茶の間に普及しはじめたコーヒーに着目してこの商品は開発されました。
- ★「雪印コーヒー」を象徴する「茶・黄・赤」という色の組み合わせは1970年のパッケージ導入当時、食品としてはかなり斬新（異質）な配色でした。しかし、この大胆な配色はその後の雪印コーヒーのブランド認知に大いに貢献していきます。
- ★「雪印コーヒー」の風味は「ミルク感を大切に」という基本は押えながらも時代のニーズに合わせて進化し続けています。熱烈なファンの中にはその微妙な変化も見逃さずに問い合わせをしてくる方もいます。
- ★シアトル系やサードウェーブなど続々と新しいコーヒーブームの波が到来している今も日本人のDNAに刻み込まれた「雪印コーヒー」の「定番の甘くて美味しい」という価値は老若男女問わず高い支持を得ています。
- ★しかし、「雪印コーヒー」はその皆様のご愛顧に甘えることなく、新しい価値をご提供し続けるべく、これからも試行錯誤を繰り返して行きます。

★55年目という節目の年を迎える今年は、「雪印コーヒーソフト」をはじめ「攻め」のラインナップを取り揃えています。

55年目の雪印コーヒーファミリー



みんなの雪印コーヒーへ！